

2018年7月4日

東急不動産ホールディングス株式会社

従業員の健康、生産性、快適性を高めるワークスペースを実現 東急不動産ホールディングスが「WELL 認証」取得へ

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈 郁仁）は、グループ事業会社の東急不動産株式会社が東京都渋谷区で開発を進めている「(仮称)南平台プロジェクト」内の一部フロアにおいて、健康・快適性に配慮した建物・室内環境評価システム「WELL Building Standard」(WELL 認証)の取得を目指すことをお知らせいたします。従業員の健康や生産性、快適性に配慮した環境作りを進めることで、現在多くの企業や団体が進めている働き方改革や健康経営の流れを後押しして参ります。

これまで東急不動産ホールディングスグループでは、自社開発などの建物において、「LEED」、 「CASBEE」、「D B」グリーンビルディング認証」などハード面での環境認証の取得を積極的に推進してまいりました。これらに加えて今回、新たに「WELL 認証」の考え方を取り入れることにより、従業員の働きやすい環境を整える動きを積極的に進め、ソフト面でも健康、生産性、快適性の向上に取り組んでまいります。

なお、東急不動産株式会社が参画する再開発事業のニューヨークの「425パーク・アベニュー」においても「WELL 認証」の取得を予定しており、国内外で健康、生産性、快適性に優れたワークスペースの実現に取り組んでまいります。



(仮称)南平台プロジェクト 外観イメージ
(東京都渋谷区・2019年3月竣工予定)



425パーク・アベニュー外観イメージ
(ニューヨーク市・2019年竣工予定)



■WELL Building Standard (WELL 認証) とは

建物の性能として、LEED や CASBEE 等で評価されてきた環境・エネルギー性能に加えて、建物内で暮らし、働く居住者のウェルネス（健康や快適性）、生産性の向上に焦点を当てた、世界初の建物・室内環境の評価システム。2014年に米国で認証が開始された。評価は7つの領域（1. 空気、2. 水、3. 栄養、4. 光、5. フィットネス、6. 快適性、7. 心）、105項目で行われ、獲得ポイント数に応じて、プラチナ、ゴールド、シルバーの認証を付与される。

